



取手市歩こう会 会報 11月

《例会の案内》 「開催日」 11月7日(土)

小雨決行 自由参加

下妻の歴史と自然ウオーク

担当 伊藤/重信/牧

下妻のシンボル砂沼は周囲6kmの遊歩道が整備され、春は桜、夏は花火大会、冬はマラソン大会などイベントの中心で多くの市民が訪れる。小貝川ふれあい公園のフラワーフェスティバル、パークゴルフは多くの方で賑わっています。今回立ち寄りませんが「大宝八幡宮」も大変有名であります。また、梨の生産が多く、東南アジアへ輸出している。休耕田を利用した常陸秋そばも多く生産している。下妻市は、2004年公開された深田恭子主演の「下妻物語」、下妻二高甲子園出場、アテネオリンピック柔道塚田選手金メダル獲得でその名は一気に全国に広がりました。

- 1、集合 JR取手駅西口ペDESTリアンデッキ 8時00分 砂沼→
- 2、交通機関 取手駅(関鉄)8時41分発～水海道駅9時09分着(乗換)
9時22分発～下妻駅9時51分着 下車
※関東鉄道 1日フリーきゅぷ 1500円が大変お得です。
取手駅・戸頭駅・守谷駅で事前に購入して下さい。
- 3、コース 下妻駅～多賀谷城址公園～多寶院～砂沼・観桜苑～砂沼
広域公園(昼食)～さん歩の駅サン～下妻駅
- 4、距離・認定 9km(JVA)・HR 100/354
- 5、解散 15時30分ごろ
- 6、参加費 会員無料/一般 300円
- 7、その他 弁当持参 SUNさぬま→



《例会の案内》 「開催日」 11月28日(土)

小雨決行 自由参加

本土寺の紅葉ウオーク

担当 荒井/富永/牧

本土寺の紅葉は、千葉県松戸市(JR北小金駅徒歩15分)にある紅葉の名所である。水戸光圀公が寄進と伝えられている吉松・赤松の参道を抜け仁王門をくぐると、鮮やかな赤に染まる約1,000本以上のモミジが境内を彩り、私たちを迎えてくれます。深まる秋を感じましょう。五重塔、回廊といった建造物と紅葉が織りなす風情ある景観が見所。見頃の時期は、ライトアップされTVの取材や多くの方が紅葉狩りに訪れる。

- 1、集合 JR取手駅西口ペDESTリアンデッキ 8時20分
- 2、交通時間 取手駅(常磐線千代田線)8時54分発～北小金駅
9時03分(着下車)
- 3、コース 北小金駅～東平賀公園～本土寺～大矢口歴史公園
～東禅寺～北小金駅
- 4、距離・認定 7km (JVA)
- 5、解散 14時頃
- 6、参加費 会員無料/一般300円
- 7、その他 ・弁当持参
参拝料(本土寺) 400円(団体20名以上)



「例会報告」 9月19日(土) 石岡の歴史と自然ウオーク 天候 小雨～曇 参加者 38名

石岡駅に着くと小雨が降っていました。1300年の街の歴史を感じたウオークでした。茨城4社の一つである「常陸の国総社宮」はとても趣のある社宮であり、お祭りを(関東有数の山車)見学の予定でしたが残念であった。終盤には、観光協会より紹介されました、最中屋さん・つくだ煮屋さんに立ち寄り、それぞれお土産を買い求める。コロナが終息した際には、ウォーキングとは別に、山車が立派なお祭りの見学を是非お勧めしたい。 商店→



「例会報告」 10月3日(土) 藤代宿～取手宿(旧水戸街道)ウオーク 天候 晴 参加者 50名

水戸街道の江戸から7つ目の藤代氏宿～6つ目の取手宿まで、秋らしいすがすがしい天候の元でのウオークでした。水戸街道は水戸と江戸をつなぎ五街道と同じ道中奉行の管轄におかれ、水戸では江戸街道と呼ばれていた。途中は田園風景であり、随所に道しるべや石碑が設置されており、旧吉田村付近は昔の街道を思わせる雰囲気が残っていました。取手本陣(1795年創建)では見学を行いました。絵を描く高齢者の方々のグループが写生をしていた。



「お知らせ」 □ **会員情報** 新会員入会 9月19日 金子きぬ子様(戸頭6丁目)が入会されました。どうぞよろしくお願いいたします。

□ 顧問(元副会長)の渡辺眞郎氏(81歳)が9月11日逝去されました。10月3日(土)の例会の出発式にて報告し参加されました全員で1分間の黙とうを行いました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

「12月・1月例会の案内」

○ 12月5日(土) 水元公園ウオーク。 ※ 12月19日汽笛一斉・12月20日鎌倉歴史は中止です。

○ 12月19日(土) 牛久の里山ウオーク **ご注意ください日程が変更になりました。**

○ 1月9日(土) 初詣ウオーク(場所未定)。 1月17日(日)取手市新春健康マラソン・ウオーク 中止

「特別例会」10月10日(土)イヤーランド開設大会は(ひたちなか海浜鉄道)台風14号の接近により翌週の17日(土)に順延となりました。事前に「ときわ路キップ」を購入し28名の方が参加予定でしたが残念でした。機会があれば次年度にて訪れたい。

「ウォーキングメモ」 いばらきヘルスロードについて(2) ……ヘルスロードとは……



健康づくりのため、ウォーキングの推進を図るとともに、高齢化社会を見据えて子供からお年寄りまで、また障害のある方も安全に歩ける県にしようという壮大な計画です。現在指定されている道や新しい候補地を少しずつ繋いで、この道を毛細血管のように茨城県中に張り巡らそうというものです。人々はこの道を歩くことにより、茨城県の風土・歴史・産物・人情にふれ、そして自然や環境を大切も思うようになるでしょう。この道は住民が一体となって作っていくものです。

住民が選んだ道を伸ばしていただき、市町村にヘルスロードが出来上がって行くことが望まれます。ヘルス(健康)が切り口になっていますが、ヘルスロードを作り上げて行くことは、だれでも安全に移動できる県レベルのタウンモビリティを考えたノーマライゼーションの思想に基づく運動である。いつかは茨城県が日本一の福祉の県になることを願って。

ヘルスロードを考案された先生 (平成18年)茨城県県立健康プラザ管理者 太田 仁史 先生

「医師で県立大学付属病院(茨城県)立ち上げ。シルバーリハビリ体操も考案された先生」

「編集後記」 □ 9月以降急に涼しくなりました。日本では多くの人達が利用しているGO TOトラベル等が話題になって経済を引っ張っています。自粛だけでは経済は動きません。これまでの生活スタイルを取り戻せるか。 □ 新型コロナウイルス感染者数は中々減少しない。秋から冬に掛けてインフルエンザが流行し、新型コロナウイルスと初期段階では判断がつかないとか。10月からインフルエンザのワクチン接種が始まりました。高齢者は、この冬インフルエンザに掛からないためにも是非ワクチン接種を進めたい。

□ 新型コロナ感染対策を講じながら、9月から会員限定の例会を再開しておりますが、会員の協力もあり今のところ大きな問題もなく実施しております。今後も3密の回避・検温・手指消毒の実施ととソーシャルディスタンスを充分に取りながら例会を取り進めますので、会員各位の一層のご協力をお願いいたします。

